

KP-601

カラットスケール

取扱説明書



保証書付

付属品

- 校正用分銅 (100g)
- 電池 (単3アルカリ乾電池) ×4
- 取扱説明書 / 保証書付 (本書)
- ACアダプター
- ジェムカップ

このたびは、タニタカラットスケールをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。正しくお使いいただくために、お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになられた後も大切に保管してください。本器は、精密機器につき絶対分解しないでください。

も く じ

<input type="checkbox"/> KP-601仕様	1
<input type="checkbox"/> 精度の保証範囲	1
<input type="checkbox"/> 取扱上のご注意	2
<input type="checkbox"/> 各部の名称	3
<input type="checkbox"/> ご使用前の準備	4
乾電池の入れ方	4
計量の準備	4
<input type="checkbox"/> ご使用方法	5
○通常計量	5
1.電源を入れる	5
2.校正(キャリブレーション)する	5
3.モード(単位)を選択する	5
4.計量する	6
○追加計量	6
○個数計量	6
<input type="checkbox"/> その他の機能	7
○オートパワーオフ機能について	7
○バックライト輝度について	8
○バッテリーチェック	9
○ACアダプター対応	9
○風防のはずし方	10
<input type="checkbox"/> 故障かな?	10
<input type="checkbox"/> アフターサービス	11
<input type="checkbox"/> 無料修理規定	12
<input type="checkbox"/> 保証書	14

■ KP-601仕様

品名	KP-601
最大計量	100g(グラム) 500ct(カラット)
最小表示	50gまで 0.002g 50gをこえ100gまで 0.005g
	250ctまで 0.01ct 250ctをこえ500ctまで 0.02ct
電源	DC6V ・単3アルカリ乾電池(LR6,15A,AA)4本 ・ACアダプター
消費電流	45mA以下(バックライト輝度最大時)
電池寿命	連続使用約60時間 (アルカリ乾電池使用、 バックライト輝度2に設定時)
オートパワーオフ	初期設定 約10分 任意設定 (P7参照)

■ 精度の保証範囲

(使用温度：23℃±5℃、湿度：60%以下の場合)

0～25gまで	±0.008g
25～50gまで	±0.010g
50～100gまで	±0.020g
0～125ctまで	±0.04ct
125～250ctまで	±0.05ct
250～500ctまで	±0.1ct

このほかには取引証明以外・宝石用です。品物の売買取引やその他の目方を証明する場合にはお使いになれません。

■取扱上のご注意

本書では、お使いになる人や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただきたいことを次のように説明しています。本文をよくお読みいただき、本器を安全に正しくお使いください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う恐れのある」内容を表示しています。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う恐れまたは物的損害が発生する恐れのある」内容を表示しています。

⚠ 警告

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 電池は火中に投じないでください。 | ▶ 破裂する恐れがあります。 |
| 分解や改造は絶対にしないでください。 | ▶ 破損や感電、けがの原因となります。 |
| 濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。 | ▶ 感電の原因となることがあります。 |
| タコ足配線をしないでください。 | ▶ 火災の原因となることがあります。 |

⚠ 注意

- 強い衝撃や振動を与えないでください。落下等にはとくに注意してください。
- 測定中の表示に影響が出ますので風の少ないところでお使いください。
- 風による影響を避けるために風防を使用視してください。吐息などの影響を受けられる場合があります。
- 計量皿に最大計量100gを超える過大な力、および衝撃を加えますと精度が狂ったり、内部構造を破損し計量が出来なくなる場合があります。
- 振動のない硬い水平な場所においてお使いください。
- 正しい計量をするためには付属の分銅を使用し、校正を行ってください。(5ページ「校正(キャリブレーション)をする。」参照)
- 直射日光の当たらない場所で使用してください。5℃以上温度差のある場所に移動させた場合、2時間以上放置してからご使用ください。正しい計量ができない場合があります。
- 高温・低温の計量物を直接ジュエリーカップトレイおよびジュエリーカップに載せないでください。故障、変形または正しく計量できない恐れがあります。
- 電磁波を発生する機器(IH調理器、電子レンジ、携帯電話等)の近くでのご使用は避けてください。故障、変形または正しく計量できない恐れがあります。
- 水や薬品等をかけないでください。
- 静電気による計量誤差を除くために、除電してから使用してください。

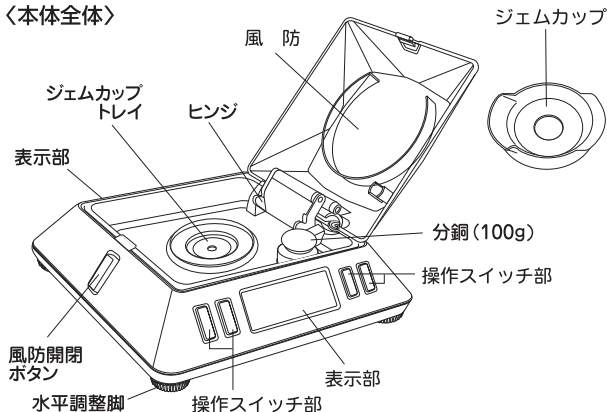
お手入れについて

本体の汚れは、水洗いせずスポンジか柔らかい布に家庭用の中性洗剤を含ませて汚れを落とし、乾いた柔らかい布で拭いてください。

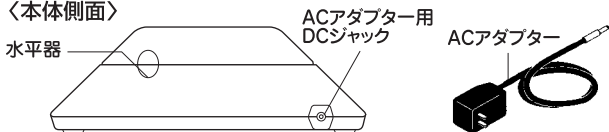
※ベンジン、シンナー、漂白剤等の薬品は使わないでください。

■各部の名称

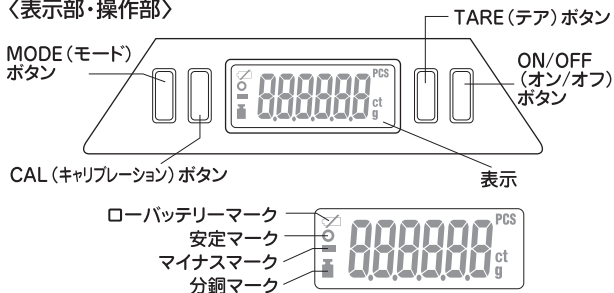
〈本体全体〉



〈本体側面〉



〈表示部・操作部〉

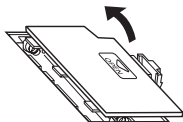


■ご使用前の準備

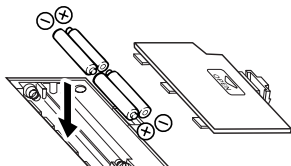
▶ 乾電池の入れ方 *アルカリ電池とマンガン電池を混用しないでください。

*付属の「お試し用電池」は工場出荷時の納められたものですので、寿命が短くなっている場合があります。

- (1) 本体の裏側のバッテリーカバーを矢印の方向に押し開きます。



- (2) ボックス内の⊕、⊖の指示に合わせ、乾電池を正しい向きで入れます。



- (3) バッテリーカバーを戻して完了です。

▶ 計量の準備

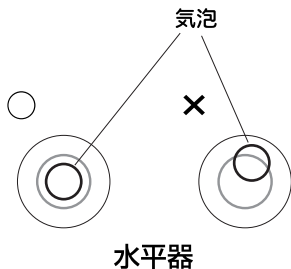
- (1) はかりをできるだけ水平な硬い場所に置きます。

正しい計量を行うために、なるべく平らな場所で、水平器の気泡が枠の中心にくるように、4ヶ所の水平調節脚を調節してください。調節脚が浮かないように調節してください。

- (2) 本体の側面にある風防開閉ボタンを押して風防を開けます。

(何かを表示している場合は、ON/OFFボタンを押して表示を消してください。)

- (3) ジェムカップをジェムカップトレイにのせ、前後左右にずれない位置に固定してください。



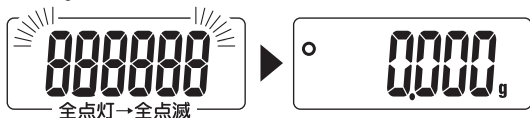
■ご使用方法

○通常計量

1.電源を入れる

ジュムカップを載せた状態でON/OFFボタンを押すとすべての表示部が点灯し、点滅した後「0.000g」が表示されます。このとき「0.000g」の「°」印は安定していることを表示しています。点灯していない場合は振動や風の影響のない場所を選んで下さい。

*「°0.000g」にならない場合はTAREボタンを押してください。



2.校正（キャリブレーション）をする

*正しい計量を行うため、初めて使用するときや本器を移動させたときは、付属の分銅を使って校正を行ってください。また毎回使用前にも校正することをお勧めします。

*電源を入れ、5分放置してから校正してください。

- ①ジュムカップを載せた状態で、ON/OFFボタンを押し、電源を入れます。
- ②「0.000g」と安定マークが点灯したら、CALボタンを押します。



- ③「CAL1b」が点滅している状態で、ジュムカップの中央に付属の校正用分銅100gを静かに載せて下さい。



3.モード（単位）を選択する

MODEボタンを押すとg、ctと交互に変わり、自由に選ぶことができます。次回のON時には前回使用していたモードが表示されます。



4.計量する

計量の準備ができた後、計量物をジエムカップに載せると表示部に重さが表示されます。

●最大計量を超えたときは、「EEEEEE」を表示します。

○追加計量（風袋引き）

ジエムカップの上に計量物を載せた後、TAREボタンを押すと「0.000g」の表示となり、追加の正味計量ができます。

計量範囲は計量物と追加の計量物を合わせて、100gまたは500ct以内です。これを超えると「EEEEEE」が表示されます。

計量物を下ろすとマイナス表示することがあります。

また、-99.995g以下になると「-----」が表示されます。

「0.000g」にするにはTAREボタンを押してください。

○個数計量

このはかりは、部品などの重量を登録することで計量物の個数をはかることができます。

*計量物の1個当たりの重さにばらつきがある場合は、正確な個数計量が行えない場合があります。

〈重量登録手順〉

- ①電源ONの状態、「0.000g」あるいは「0.00ct」が表示されたら、MODEボタンを3秒以上押します。「0pcs」が表示されているときに、CALボタンを押すと重量登録モードになり、「PC-10（10は点滅）」と表示します。



- ②計量物を10個載せます。安定マークが表示したら、CALボタンを押すと数値が点灯します。



計量物の重量が不足している場合は、CALボタンを押すと「PC-25」と表示されるので、計量物を25個に増やし、安定マークが点灯したらCALボタンを押します。さらに、計量物の重量が不足している場合は、計量物の数を50個、100個、150個、200個、250個、500個と増加させ、安定マークが点灯したらCALボタンを押します。計量物が軽すぎると「Lo」表示する場合があります。

- ③表示は、自動的に個数表示(PCS)になり、計量物を下ろします。
- ④計量したいものを載せると、個数が表示されます。
- ⑤はかり終わったら下ろし、ON/OFFボタンを押し、電源を切ります。

*電源を切ると、登録は消去されます。電源を切る前であれば、g、ctの通常計量を行ったあともMODEボタンを3秒以上押しと登録された重量で個数計量することができます。

■その他の機能

○オートパワーオフについて

このはかりはオートパワーオフの機能がついています。表示が変わらずボタン操作のない状態が続くと、設定した時間で自動的に電源が切れます。

*0分(オートパワーオフなし)、10~60分まで10分刻みで任意に設定が可能。
(設定変更手順)(工場出荷時は10分に設定されています)

- ①電源OFFの状態でもODEボタンを押しながら、ON/OFFボタンを押すと設定変更モードになります。

MODEボタンを押しながら、
ON/OFFボタンを押す。

Fn-APO

- ②TAREボタンかCALボタンを押すごとに設定項目が変更します。(8ページ参照)
(オートパワーオフ設定 ⇄ バックライト輝度設定)

Fn-APO

Fn-bl

- ③「Fn-APO」が表示されているときに、MODEボタンを押すとオートパワーオフ設定状態になります。

MODEボタンを押す

Fn-APO

APO-10

- ④その時、表示には現在設定されている時間が表示されます。

次ページへ

- ⑤ TAREボタン押すごとに次のようにUPします。
 (10→20→30→40→50→60→0→10)
 CALボタン押すごとに次のようにDOWNします。
 (10→0→60→50→40→30→20→10)
 オートパワーオフを解除(連続使用に)する場合は「0」に設定して下さい。
- ⑥ 設定したい時間表示の時、MODEボタンを押すと、「End」が表示され、電源がOFFし、設定が完了します。
 例) 20分に設定したい場合

MODEボタンを押す



○バックライト輝度

このはかりはバックライト輝度調節の機能がついています。任意に設定した明るさの表示で使用することができます。

* 明るさは5段階で任意に設定が可能。
 (最も明るい“bL-4”～バックライト切“bL-0”)

〈設定変更手順〉(工場出荷は“bL-2”に設定されています。)

- ① 電源OFFの状態でもODEボタンを押しながら、ON/OFFボタンを押すと設定変更モードになります。

MODEボタンを押しながら、ON/OFFボタンを押す。

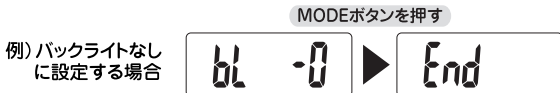


- ② TAREボタンかCALボタンを押すごとに設定項目が変更します。
 (オートパワーオフ設定 ←バックライト輝度設定)
- ③ 「Fn-bL」が表示されているときに、MODEボタンを押すとバックライト輝度設定状態になります。この時、表示には現在設定されている輝度が表示されます。

MODEボタンを押す



- ④ TAREボタン押すごとに次のようにUPします。
 (2→3→4→0→1→2)
 CALボタン押すごとに次のようにDOWNします。
 (2→1→0→4→3→2)
- ⑤ 設定したい輝度の時、MODEボタンを押すと、「End」が表示され、電源がOFFし、設定が完了します。



〈操作途中で作業を中止する場合〉

「End」表示前にオートパワーオフで電源が切れたりON／OFFボタンを押すと、そこまでの作業が中止され表示は消えます。
 中止した場合は、設定の変更は行われません。

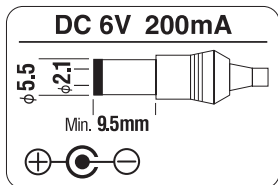
○ バッテリーチェック

電池が消耗すると表示部にローバッテリーマーク()が点灯し、さらに消耗すると「LobAtt」が表示されますので4本とも新しい単3アルカリ乾電池と交換してください。

- 乾電池を交換する際は、必ず電源を切ってから行ってください。
- 乾電池の入れ方は、P.4を参照してください。
- 古い乾電池はお住まいの市町村区の廃棄方法に従って処理してください。

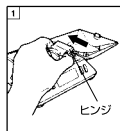
○ ACアダプター対応

- 必ず同梱された当社純正品を使用して下さい。
- P.3のACアダプター用DCジャックに差し込んでお使いください。

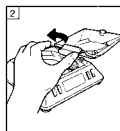


○風防のはずし方、つけ方

〈はずし方〉

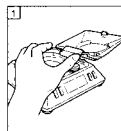


ヒンジをつまみ、
矢印の方向に押し込む

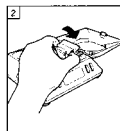


ひねるように、持ちあげる

〈つけ方〉



ヒンジの片側を
穴に入れる



もう片側のヒンジ
を穴に入れる

■故障かな？

○「Er0065」または「Er0066」と表示される

→過度の衝撃や落下等により、正しい計量ができない状態です。弊社での修理が必要ですので、弊社お客様サービス相談室にご相談下さい。

○「Er0080」と表示される

→「CAL1b」が点滅してから分銅を載せてください。それでも同じ表示が出る場合は、弊社での修理が必要な場合がありますので、弊社お客様サービス相談室にご相談下さい。

○「Er0081」と表示される

→「CAL1b」が点滅する前にジュムカップを置き、校正が終わるまで下ささないでください。それでも同じ表示が出る場合は、弊社での修理が必要な場合がありますので、弊社お客様サービス相談室にご相談下さい。

○キャリブレーションの「End」表示後、「100.000g」が表示されたままで「0.000g」にならない

→ジュムカップごと取り除いていませんか？または分銅が一部残っていませんか？「CAL1b」が点滅した時と同じ状態（ジュムカップのみ載っている状態）にしてください。

■アフターサービスについて |||||

1. 保証書について

保証書は、この取扱説明書に付いておりますので必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です（電池は保証対象外です）。

2. 修理を依頼される時

- 保証期間中は弊社お客様サービス相談室へお電話にてご連絡の上、保証書を添えて製品をお送りください。
- 保証期間が過ぎているときは弊社お客様サービス相談室にご相談ください。修理によって製品の機能が維持できる場合はご希望により有料修理させていただきます。

3. ご不明な点は弊社営業所またはお客様サービス相談室にお問い合わせください。

株式会社 **タニタ**

本社・東京営業所	〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2	☎ 03(3558)8111(代表)
大阪営業所	〒577-0013 東大阪市長田中1-3-15	☎ 06(6784)2811(代表)
名古屋営業所	〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-19-20	☎ 052(201)6391(代表)
福岡営業所	〒812-0082 福岡市博多区麦野4-2-6	☎ 092(575)5761(代表)
北日本営業所	〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1	☎ 0187(66)2144(代表)

ホームページアドレス <http://www.tanita.co.jp/>

お問い合わせ先

フリー
ダイヤル



0120-133821

受付時間 / 9:00~18:00 (土・日・祝祭日は除く)

お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

無料修理規定

- 1.取扱説明書等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 2.保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、弊社お客様サービス相談室に連絡の上、商品と保証書をお送りください。
- 3.ご贈答品等で本保証書に必要な事項が記入していない場合には、弊社お客様サービス相談室へご相談ください。
- 4.保証期間内でも次の場合には、有料修理になります。
 - イ、使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ロ、お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
 - ハ、火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷
 - ニ、業務用の長時間使用、船舶の搭載などに使用された場合の故障及び損傷
 - ホ、保証書の提示がない場合
 - ヘ、保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 5.保証書は、日本国内においてのみ有効です。
- 6.保証書は、再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間後の修理についてご不明の場合は、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。



